

科目名	イグナイト教育3			ナンバリング	IGN161	授業形態	演習
対象学年	3	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	菊池雄士	担当教員	櫻井映子、松本司、山崎勝弘、梅村一之、奈良武司、角田大、鈴木順子				

授業の概要	この授業はイグナイト教育1、2からの発展コースとして、チーム活動により課題(問題)解決を試みる実践段階の学修である。各分野の教員により提示された薬学諸領域の課題に対して、自己学習を基に、チームの一員として能動的に討論・情報整理・分析を行い、コンセンサス形成による課題(問題)解決力の涵養を目指す(大学独自)。また、薬剤師が医療人として、適正な医療行動を行っていくための行動規範となる生命倫理、医療倫理を学び、実例に則して、問題点抽出と、その解決に向けた方途を他の医療従事者との連携の視点で考えることができるようになる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員により提示された事前課題・専門用語を説明できる。 2. 自分の持つ情報や考えを整理して、他の人に適切に伝えるとともに、問題発見、コンセンサスの形成などのチーム活動に積極的に参加できる。 3. 応用課題に対して、チーム活動により問題点を発見し解決することができる。 4. 医療の担い手としての生命倫理、医療倫理について説明できる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	与えられた事前課題を行う。事前課題、応用課題を通して、十分に理解できていないと感じた点は教科書を読み返して必ず解決しておくこと。解決しないときは教員に質問すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
事前課題に対する自己学習ができ、IRAT、GRAT、応用問題への取組に活用されている。GRATや応用課題において、チームメンバーと協働した問題点の発見と解決、コンセンサスの形成、発表資料の作成に参加する。課題に対するチームの結論を、分かりやすく発表するとともに、質疑応答ができる。与えられた課題を期日までに提出できる。	事前課題に対する主体的かつ十分な自己学習ができ、IRAT、GRAT、応用問題への取組に活用されている。GRATや応用課題において、チームメンバーと協働した問題点の発見と解決、コンセンサスの形成、発表資料の作成に積極的に参加することができる。課題に対するチームの結論を、専門用語を用いて分かりやすく発表し、適切な質疑応答ができる。適切な振り返りシートを作成し、与えられた課題と共に期日までに提出することができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
学習態度				○			40%
IRAT成績	○						20%
GRAT成績	○						10%
アピール						○	2%
教員評価			○	○			5%
応用問題	○	○					18%
振り返り			○				5%

課題、評価のフィードバック	各時間内に、事前課題、RAT問題、応用課題の答えについて担当教員によるフィードバックを行う。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	各回の講義のテーマ、ならびにTBL, PBL形式で進められる講義形態、および各講義の進め方についての説明を行う。	
	第2回	「物理化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第3回	「物理化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第4回	「細胞生物学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:C6-(4)-①-1 SBO:C6-(4)-④-1 SBO:C6-(4)-④-5
	第5回	「細胞生物学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:C6-(4)-①-1 SBO:C6-(4)-④-1 SBO:C6-(4)-④-5
	第6回	「薬理学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: E1-(1)-①-2 SBO: E1-(1)-①-4 SBO: E2-(1)-②-2
	第7回	「薬理学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: E1-(1)-①-2 SBO: E1-(1)-①-4 SBO: E2-(1)-②-2
	第8回	「衛生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: D2-(2)-①-3-4 ア-D2-①-1
	第9回	「衛生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: D2-(2)-①-3-4 ア-D2-①-1
	第10回	「免疫学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第11回	「免疫学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第12回	「有機化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: C3-(1)-①② SBO: C3-(2)-①~③
	第13回	「有機化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: C3-(3)-①~⑦ SBO: C3-(4)-①~④
	第14回	「薬学と社会・医療倫理」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:A-(1)-③1~7 SBO:B-(2)-①1~8, ②1~11
	第15回	「薬学と社会・医療倫理」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:A-(1)-③1~7 SBO:B-(2)-①1~8, ②1~11
	試験			

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第16回	「物理化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第17回	「物理化学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	
	第18回	「細胞生物学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:C6-(5)-①-1 SBO:C6-(5)-②-1~3
	第19回	「細胞生物学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO:C6-(5)-①-1 SBO:C6-(5)-②-1~3
	第20回	「漢方・生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: E2-(5)-①-1 SBO: E2-(3)-③-1 SBO: E2-(10)-③-1
	第21回	「漢方・生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: E2-(5)-①-1 SBO: E2-(3)-③-1 SBO: E2-(10)-③-1
	第22回	「衛生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: D2-(2)-④-2
	第23回	「衛生薬学」分野	各グループに同一の課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、チームとして一定の結論を導く。その結果を提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答を行い、評価し合う。	SBO: D2-(2)-④-2
	第24回	現在の医療事情の変化と職務倫理 (地域包括ケア体制と薬剤師の任務)	我が国の医療体制の変化について説明する。医療、保健、公衆衛生に果たすべき薬剤師の役割について概説する。薬剤師の守るべき倫理指針について討論し、考察する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第25回	生命倫理の基本原則	生命の尊厳を守ること、基本的人権を尊重することが社会全体の構成原理であることを説明する。医療において生命と人権の間に発生しがちなコンフリクトについて討論し、考察する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第26回	生命倫理から医療倫理へのアプローチ①	リスボン宣言に記載されている「患者の権利」について概説する。医療倫理4原則における「自律尊重原則」に照らして、医療従事者が患者支援のためにとるべき行動について説明する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第27回	生命倫理から医療倫理へのアプローチ②	薬剤師が狭義の医療局面のみならず、広く社会の公衆衛生に寄与する立場であることを講義する。医療倫理4原則の「無危害原則」「正義原則」が薬剤師のプロフェッションとどのように関係するかを討論し、考察する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第28回	生命倫理から医療倫理へのアプローチ③	科学や医療の発展に伴って起きる生命の発生と死にまつわる諸問題について講義するとともに、それらの問題に対して医療のあるべき考え方や態度について説明する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第29回	臨床研究における倫理	医療の発展による国民福祉のために臨床研究及び研究を行うという態度が薬剤師にとって必要であること、ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言の内容と意義、我が国の臨床研究に関する指針等を解説する。	SBO: A-(2)-1-1~4
	第30回			
	試験			
授業の進め方	教員から、各チームに課題(問題)が与えられ、チーム内の討論により課題(問題)解決を試み、結論を導く。その結果を各チームが一斉に提示し、提示内容についてチーム間で質疑応答・評価し合う。時間内に、RAT問題、応用課題の解答について教員によるフィードバックが行なわれる。			
授業外学習の指示	毎回、授業終了時に次週の授業内容に関する事前課題、学習しておくべき範囲・内容が提示される。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	
参考書	スタンダード薬学シリーズ1~6巻、9巻、日本薬学会編、東京化学同人 薬事法規・制度及び倫理 解説、薬事衛生研究会編、薬事日報、ISBN:978-4-8408-1201 その他、授業終了時に準備学習に用いる書籍を指定し、事前課題、学習しておくべき範囲・内容を提示する。
参考URLなど	
その他	準備学習の成果は、個人テスト(IRAT)、グループテスト(GRAT)に反映される。 薬剤師に求められる10の基本的な資質のうち、以下に示す5項目の資質の醸成に寄与する。1.薬剤師としての心構え 3.コミュニケーション能力 4.チーム医療への参画 5.基礎的な科学力 8.研究能力 アドバンスト: 20% 準備教育: 30% 大学独自: 20%